



## 今から始まる 琵琶湖浄化活動に 比嘉教授が、熱いエール 滋賀県大津市



7月28日(日)毎年恒例となった日本橋清洗イベント(名橋「日本橋」保存会が主催)が行われました。同時に関東地域で活動しているボランティア団体がつくったEM団子の投入も行われました。(東京都)

# EMで甦る水環境

7月15日・海の日を中心として

全国各地でEM団子投入イベントが開催されました

EMでの琵琶湖の浄化活動は以前にも、野洲市のあやめ浜で2年間行ったことがあり、しじみが復活していました。活動の継続ができませんでした。今回市民団体である高島EMオーガニック倶楽部(森山美栄子代表、永野正子EMインストラクター、寺本マコEMプロデューサー&アドバイザー)は琵琶湖の北西部に位置する高島市とタイアップして、生ごみリサイクルなどを手掛け、若い人たちが活動できる受け皿を目指してきました。今年には琵琶湖浄化に向け、寺本マコさんが環境部門の顧問として、EMの指導やイベント開催をサポートしている社団法人和久湧くコンセプトのメンバーと協力して、比嘉教授を沖縄から迎え、7月15日・海の日に記念すべき浄化活動の第一歩を踏み出しました。

和久湧くコンセプトのメンバーはこの日に先立ち、EM団子に関する研修を三重県津市で受けたり、大津市立坂本幼稚園でのEM団子づくりを実施したりしました。和久湧くコンセプトとは「ワクワクする、笑ってもらう、滋賀から発信したい」をコンセプトとして、30年後の未来を見据えて、身体、精神、経済的にも「幸せ」という価値を追求し、地域の文化の活性化を目指しています。

今回は、「EM環境団子のうた」のお披露目がありました。この歌は、和久湧くコンセプトの代表である中西長光氏が作詞、シンガーソングライターの熊野義也氏が作曲を担当しました。



愛知県 名古屋市 堀川(名城公園付近)



三重県 四日市市 四日市港(オーストラリア記念館付近)



三重県 津市 賢崎海岸



石川県 白山市 徳光海岸

